

平成29年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	地域活動補助事業	保健福祉分科会

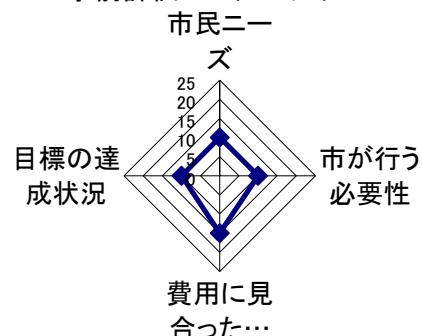
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 補助事業対象者(市内民間保育園)14園からみた視点で記入	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	園内に交流できる環境がなければ、移動手段がないことや他の施設との交流の難しさなどで事業に取り組めないようである。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	事業に取り組んでいる園が14園中4園から2園であり、事業ができるための改善がなされていない。使いたくても使い勝手が悪いのであれば、補助金の必要はない。園は使い勝手の良い補助金を望んでいる。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 活動3事業について実績を踏まえて記入 ※資料参考	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	事業に取り組んでいる園の状況を観察して、よい成果を出していることを確認したが、その園は環境が整っているからできている。育児講座等の開催は、14園全体が全く取り組めていない。事業そのものに無理がある
(4) 目標の達成状況 評価の視点 市内の保育所が、この事業により地域に根差した保育所になっているか	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	ほとんどの園が取り組めないし取り組んでいない状況では意味が無い。目的はあっても実現できる事業になっていないため、目的の達成は望めない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点 5 良好である 76~99点 4 おおむね適正である 51~75点 3 問題がある 26~50点 2 かなり問題がある 1~25点 1 不適正である 0点	45

事前評価レーダーチャート



理由

園のニーズに合ってない事業に補助金制度だけ残していると考える。長年にわたって持続している制度が、これだけ利用されていないことに何ら疑問を抱かないことが問題である。近隣市がこの事業を廃止しているが、本市としても園の意見を聞いて廃止を検討してもよいのではないか。

課題と反省

--

平成29年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	地域活動補助事業	保健福祉分科会

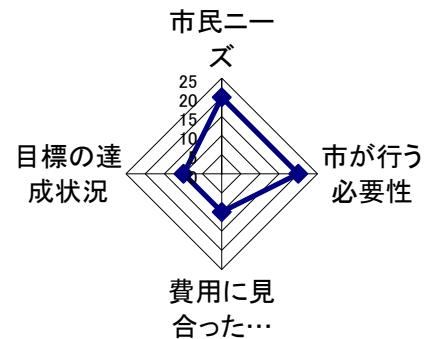
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 補助事業対象者(市内民間保育園)14園からみた視点で記入	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	市内6地域に分かれた福祉活動をベースに、それぞれの地域性を生かした違世代間コミュニケーションを保育園の方からも重視していく。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	定着していくいくまで、試行錯誤はあるが、補助事業は続けるべき。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 活動3事業について実績を踏まえて記入 ※資料参考	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	理想に「到達するまで方法を別途に考えるべき。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 市内の保育所が、この事業により地域に根差した保育所になっているか	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	現状は2保育園にしか利用されてない。全保育園に広がるのが目標だが。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
6 きわめて良好である	100点	
5 良好である	76~99点	
4 おおむね適正である	51~75点	
3 問題がある	26~50点	
2 かなり問題がある	1~25点	
1 不適正である	0点	
4		60

事前評価レーダーチャート



理由

福祉の6地域区分に、この補助事業がより貢献できるように、予算の増加充実を図るべき。

課題と反省

--

平成29年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	地域活動補助事業	保健福祉分科会

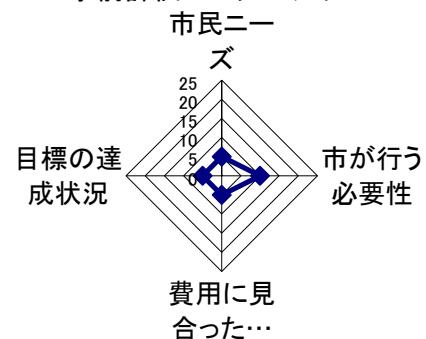
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 補助事業対象者(市内民間保育園)14園からみた視点で記入	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5 ○	補助対象事業者(所)数に対して過去の実施事業数はH28年度は対象数14に対し実施数2、H27年度は対象数9に対し実施数2と少ない状況である。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10 ○	当事業の主な活動内容を見ても可能であれば行政として補助金が出る状況が良い程度の実績と見受けられる状況である。補助金がなくても独自で活動している状況も見受けられる。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 活動3事業について実績を踏まえて記入 ※資料参考	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	5 ○	活動3事業についても、育児講座・育児と仕事両立支援については過去の実績がゼロであり、世代間交流と異年齢児交流についても使い勝手の良い内容とは決して言えない状況である。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 市内の保育所が、この事業により地域に根差した保育所になっているか	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	5 ○	各事業者の皆様は日々市内の児童福祉にご尽力を頂いている状況だが、この補助金があるから更に良い保育事業となっているのかは疑問が残ると考える。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
2	6 きわめて良好である 100点 5 良好である 76~99点 4 おおむね適正である 51~75点 3 問題がある 26~50点 2 かなり問題がある 1~25点 1 不適正である 0点	25

事前評価レーダーチャート



理 由

この補助金制度については対象事業者数に対して過去数年の実績を見ても実施数が非常に少ない状況である。活動内容(3事業)についても事業者にとって利用しにくいものとなってしまっており、現場の声としても例えば課題となっている保育士の給与に関する補助制度のような今本当に必要と考えられる部分に対して利用ができるような内容にして欲しいとの意見があった。また、近隣の市町村においても同様の補助事業はここ数年で廃止となっており、当市においてもより使い勝手の良い制度へと移行すべきである。

課題と反省

平成29年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	地域活動補助事業	保健福祉分科会

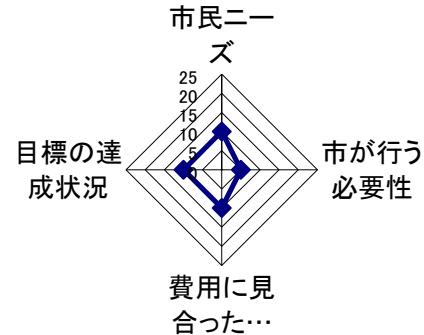
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 補助事業対象者(市内民間保育園)14園からみた視点で記入	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	民間保育園14園中2園のみ補助事業の申請。補助金の使用範囲が限られ報告書も煩雑な事務処理になっている。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	毎年申請事業が減少。28年度は事業数3、保育園については2園のみ申請。事業補助内容も狭義。他市では国の補助打ち切りと同時に中止の所がある。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 活動3事業について実績を踏まえて記入 ※資料参考	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	世代間交流事業・異年齢児交流事業とも系列園との交流。積極的な事業とは考えにくい。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 市内の保育所が、この事業により地域に根差した保育所になっているか	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	事業を実施した園は計画通りの成果はあったと思うが14園中2園のみ事業申請、園の補助金利用率は約15%からすると目標達成率は低い。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点 5 良好である 76~99点 4 おおむね適正である 51~75点 3 問題がある 26~50点 2 かなり問題がある 1~25点 1 不適正である 0点	35

事前評価レーダーチャート



理由

聞き取り調査の中で、25年度以降補助金使用が狭義になった。補助金事業に対する実施件数が毎年少なくなってきた。今回の補助事業仕分けには直接関係ないが、別な面で助成が有れば園の運営が楽になるとの声もあった。地域活動補助事業は別な事業に組み入れた方が良いと判断する。

課題と反省

課題と反省

平成29年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	地域活動補助事業	保健福祉分科会

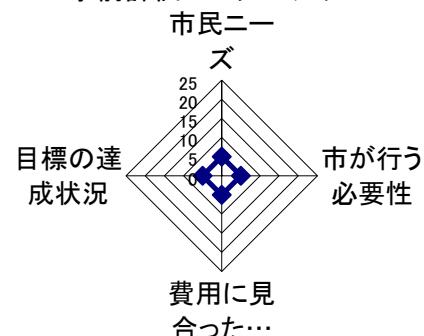
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 補助事業対象者(市内民間保育園)14園からみた視点で記入	①きわめてニーズが高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5 ○	昨年度の実績をみても14園中2園のみの申請状況となっている。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5 ○	平成6年度から実施しており、事業開始当初は国庫補助の対象事業であった。しかし、平成11年度を最後に、国庫補助事業から除外され、現在は一般財源で継続している。また、近隣他市をみると廃止になっている。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 活動3事業について実績を踏まえて記入 ※資料参考	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	5 ○	一部、目的外に使用されている。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 市内の保育所が、この事業により地域に根差した保育所になっているか	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	5 ○	2園のみが行っているだけで、目標の達成はできていない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
2	6 きわめて良好である 100点 5 良好である 76~99点 4 おおむね適正である 51~75点 3 問題がある 26~50点 2 かなり問題がある 1~25点 1 不適正である 0点	20

事前評価レーダーチャート



理由

昨年度の実績をみても14園中2園のみの申請状況となっている。園の環境によって事業が実施できない状況である。時代のニーズに合っていない。

課題と反省

--